

第36回菅平動物学セミナー報告

筑波大学菅平高原実験センター（長野県上田市菅平高原）で12月5日（土）に開催された第36回菅平動物学セミナーに、塘研究室と兼子研究室の合わせて13名が参加しました。朝9:00から夕方18:00までに24題の発表がありました。兼子研の佐藤君、塘研の林君、難波君、木目澤さん、緒勝君がいずれもプロジェクトと関わった研究成果を発表しました。セミナー後は菅平ホテルにて、夕食を兼ねた懇親会が開催され、その後も場所を替えて熱いディスカッションが夜遅くまで続きました。セミナー前日も前夜祭と称する交流会が菅平ホテルで（前泊の参加者が勝手に）行われましたので、飲み続け、話し続け、聴き続けた2日間となりました。



佐藤浩一(兼子研)「単為生殖と推定されるチビコケカニムシの種内系統解析」



林宏至朗(塘研)「福島県における止水性ヒメシロカゲロウ属の一種の遺伝的多様性について」



難波元生(塘研)「裏磐梯地域に生息するウチダザリガニの食性解析」



木目澤友梨恵(塘研)「Thrips genus-group(アザミウマ目:アザミウマ科)に属するアザミウマ類の分子系統解析)」



緒勝祐太郎(塘研)「福島県裏磐梯地域のオサムシ科昆虫群集～環境要因, 土壌動物との関係～」